

電子・物理工学科 (旧電気一部・旧応物)

電子・物理工学科の近況



工学研究科教授
電子・物理工学科主任
金 大貴

卒業生の皆様、新型コロナウイルスの影響が続く中、いかがお過ごしでしょうか。まず、学生の進路状況について報告いたします。2020年3月に37名が電子・物理工学科を卒業し、そのうち8名が就職、4名が他大学大学院に進学、25名が本学大学院に進学しました。また、大学院では、33名が前期博士課程（修士課程）を修了し、31名が就職、2名が本学後期博士課程に進学しました。そして、4月には45名の新入生を迎えることができました。教員の近況として、2020年1月からは光機能工学領域に渋谷昌弘特任講師（文部科学省卓越研究員）が着任されました。

大阪府立大学との大学統合についてご説明申し上げます。2022年4月、大阪市立大学と大阪府立大学を母体に新たな「大阪公立大学（仮称）」が誕生する

予定です（設置認可申請中）。12の多様な学部・学域、高度な専門性を磨く15の研究科を擁し、学生数約16,000人の日本最大規模の公立大学です。私たち電子・物理工学科も大阪府立大学の電子物理工学科と統合し、「大阪公立大学工学部電子物理工学科」として新しい歩みをスタートさせます。電子物理学の両輪をなす電子物性と電子材料に関する共通の教育課程を設けるとともに、各学問領域を専門的に修得する教育課程を個別に設けることにより、電子物理学の発展に貢献できる人材を育成することを目指します。

最後になりますが、卒業生の皆様のますますのご活躍を祈念いたしますとともに、引き続き本学科、そして新しい電子物理工学科へのご支援とご鞭撻をお願い申し上げます。